

## 試験研究（事前）評価整理表

試験研究機関名 林業研究センター  
所管グループ 研究開発グループ

整理番号	施策目標等		試験・研究課題名	研究目的	研究概要	試験研究始期・終期		評価結果	理由	外部評価アドバイザー意見
	施策目標	研究課題分類				始期	終期			
1	21世紀の豊かな森林、活力ある林業・木材産業づくり	農林水産物の高品質化と一層の省力・低コスト生産のための技術開発	スギ材の低コスト化乾燥方法の開発	割れや材色変化が少なく、かつ寸法安定性に優れたスギ平角材の効率的な乾燥条件を明らかにする。特に、県内の人工乾燥設備の導入状況をふまえ、天然乾燥を主体的または併用とした乾燥手法について、その有用性（乾燥コストの低減、寸法安定性、材色変化の抑制）を明らかにする。	割れの発生を抑制する効果を得るための最低限の人工乾燥条件（蒸煮、高温低湿処理）を明らかにするとともに、スギ平角材の適正な天然乾燥期間を推定するための選別手法（重量、材色）について検討する。	19	23	A	県産スギ材は中目材の利用促進から平角材としての需要増加が期待されている。低コストな乾燥スケジュールを明らかにすることにより、乾燥材の生産増加を図り、県産木材の需要拡大に資する。	材料中に拡散した水分を取り除くのは時間のかかることで、天然乾燥の併用は理解できるが、スギ材の木としての特性を考慮した乾燥方法の開発（従来と異なる）は難しいか？
2	21世紀の豊かな森林、活力ある林業・木材産業づくり	農林水産物の高品質化と一層の省力・低コスト生産のための技術開発	列状間伐施業方法の検討	簡易な間伐方法とされる列状間伐について、導入に当たっての得失を明確にする。	列状間伐と点状間伐の施業方法の作業性及びコストの比較・検討を行う。また、間伐実施後の残存木の諸被害の発生及び成長状況を調査する。	19	23	B	間伐をより簡易に実行するため、列状間伐の得失を明らかにし、森林整備の推進に資する。	妥当な評価。森林所有者が、どれ位の得失についてマイナスまで許容するのか、あらかじめ知っておく必要があるのでは？。仕様としてはこの技術の得失がある値以上あるかどうかを明らかに。